

# 取引先の経営改善や成長力の強化

## ① ライフステージ別の長期資金残高（2019年3月末） 487億円

熊本県



### ライフステージ別の長期資金

プロパー・制度資金	JA 信連	新規就農関連資金	農業近代化資金	負債整理資金
		455百万円	8,997百万円	8,377百万円
		/	アグリマイティー資金	/
			8,721百万円	
			農機ハウスローン	
	1,027百万円			
その他農業者向け資金				
4,531百万円				
金庫	農業者向け資金			
	1,083百万円			
日本公庫受託資金	青年等就農資金	農業経営基盤強化資金（スーパーL）		
	2,124百万円	10,352百万円		

その他農業関連資金

その他農業関連資金  
27百万円

その他農業関連資金  
3,041百万円

※上記残高は、長期資金(災害資金除く)のみを集計しているため、ディスクロージャー誌等の残高数値と異なります。

# ライフステージ別に応じた支援事例

業種	-	使 途	農機具購入資金、運転資金等
経 緯 ・ 目 的	<p>農業法人数の増加や、個人農業者の高齢化が全国で進行しており、熊本県域でも同様の傾向が確認されるなか、以下の2つの資金について、2018年10月1日に商品性の見直しを行い、幅広い資金ニーズを有する農業経営体の事業展開を後押ししました。</p> <p>【改善内容】</p> <p>1 J A 農機ハウスローン            (1)融資対象はこれまで個人のみでしたが、今回、法人も融資対象に追加しました。            (2)一般に資金需要額が大きい法人については、貸付限度額を10百万円としました。</p> <p>2 J A 営農ローン            (1)農業者の経営規模が拡大している現状を踏まえ、貸付限度額を10百万円まで増額しました。            (2)農業者の高齢化の現状を踏まえ、原則上の貸付限度年齢を75歳まで引き上げました。</p>		
効 果	<p>法人向けの J A 農機ハウスローンについて、2018年10月1日の改正以後、同年12月末日までの間では、まだ農業法人へ情報も行き渡り切れていない状態でありながら、1件3百万円の資金実行があり、その後も徐々に広まりを見せていく見込みです。</p> <p>J A 営農ローンについては、2018年12月末日時点で114件154百万円の運転資金を支えており、今回の商品性見直しを経て、より長い期間、大きな規模の運転資金ニーズにお応えできる見込みです。</p> <p>農業情勢が激しく変動するなか、地域の農業者・農業法人の皆様の経営に寄り添った商品性改善を、今後とも継続していきます。</p>		